

# 五本松運動広場整備基本計画

令和6年3月

# 目次

<b>1. はじめに</b> .....	<b>1</b>
1.1 計画策定の背景.....	1
1.2 計画の位置づけ.....	1
<b>2. 計画地の概要</b> .....	<b>2</b>
2.1 計画地の現況 .....	2
2.2 地質・インフラ・法規制等 .....	3
2.3 五本松運動広場運営状況.....	5
<b>3. 我孫子市におけるスポーツの現況</b> .....	<b>6</b>
3.1 市内の公共スポーツ施設の概要.....	6
3.2 市民のスポーツ実施状況やニーズ.....	9
<b>4. 導入機能と施設等の検討</b> .....	<b>10</b>
4.1 五本松運動広場の整備方針と導入機能 .....	10
4.2 導入施設の検討.....	12
<b>5. 施設の基本配置と仕様</b> .....	<b>15</b>
5.1 施設基本配置 .....	15
5.2 施設の仕様 .....	16
<b>6. 整備・運営管理方法</b> .....	<b>20</b>
6.1 整備における民間活力の導入について .....	20
6.2 運営・管理における民間活力の導入について .....	21
<b>7. 概算事業費・整備効果の検討</b> .....	<b>23</b>
7.1 概算整備費.....	23
7.2 維持管理費.....	24
7.3 整備効果等.....	25
<b>8. 整備にむけて</b> .....	<b>27</b>
8.1 事業スケジュール.....	27
8.2 補助金について .....	28

# 1. はじめに

## 1.1 計画策定の背景

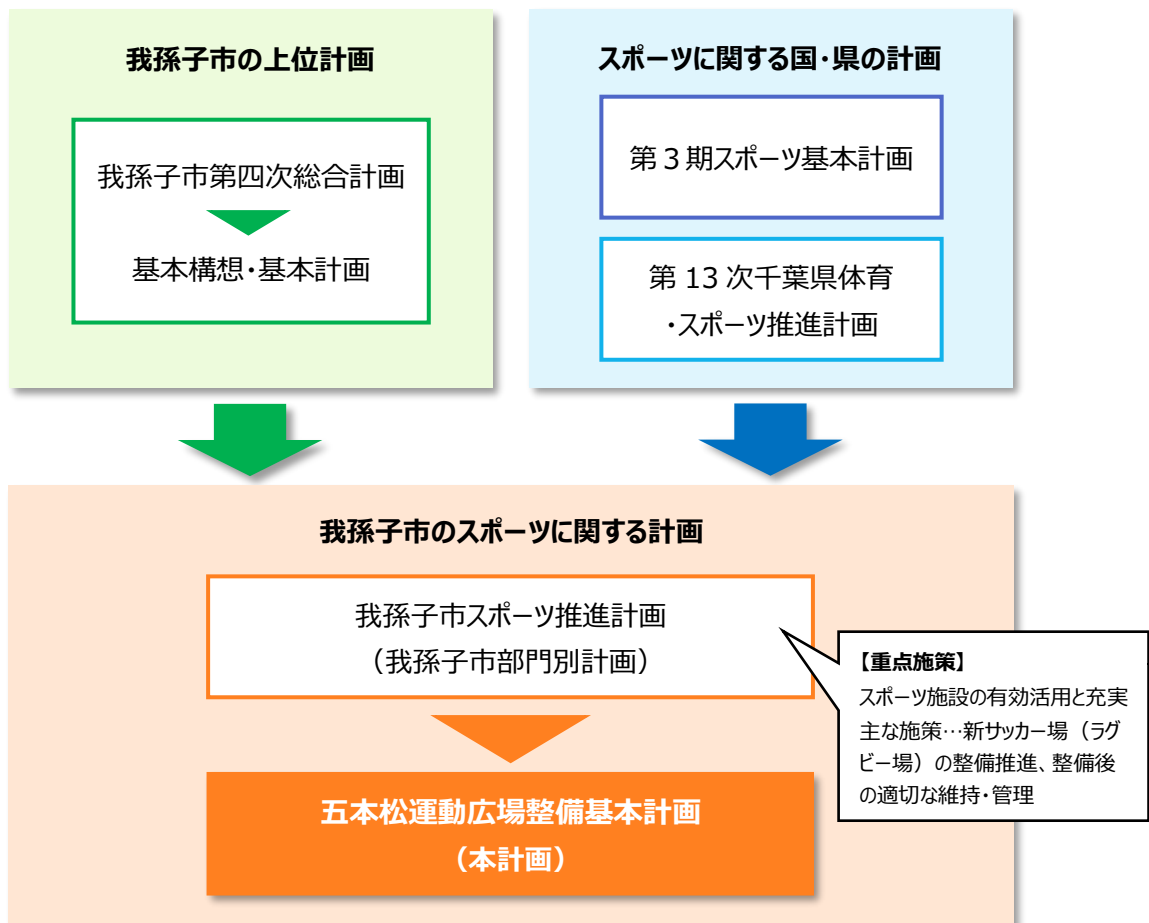
我孫子市（以下、「本市」）には、利根川ゆうゆう公園内にサッカー場（大人2面、小人3面）が整備されているが、天然芝コートのため一定の養生期間が必要であり、年間の利用日数が制限されている。また、河川敷のため、台風時には利根川の増水によりサッカー場が水没し、長期間利用できないこともある。そのため、このような状況を解消し、年間を通して利用できるサッカー場の整備が課題となっている。

また、本市にはジャパンラグビーリーグワンに加盟する“NECグリーンロケッツ東葛”の練習拠点があり、ラグビーを楽しむ市民も多くいるが、ラグビー場がなく、ラグビーを楽しめる環境が整備されていない状況である。

## 1.2 計画の位置づけ

本市では、「我孫子市第四次総合計画」と整合性を図りながら、国の「第3期スポーツ基本計画」及び千葉県「第13次千葉県体育・スポーツ推進計画」を参考にし、「我孫子市スポーツ推進計画」を令和5年3月に策定した。「我孫子市スポーツ推進計画」では、本市のスポーツ施策の方向性を示しており、五本松運動広場においては、新たなサッカー場兼ラグビー場の整備を推進するとしている。

本計画は、年間を通して利用できるサッカー場の整備及びラグビーを楽しめる環境の実現を目指し、五本松運動広場におけるサッカー場兼ラグビー場の整備に関して策定するものである。

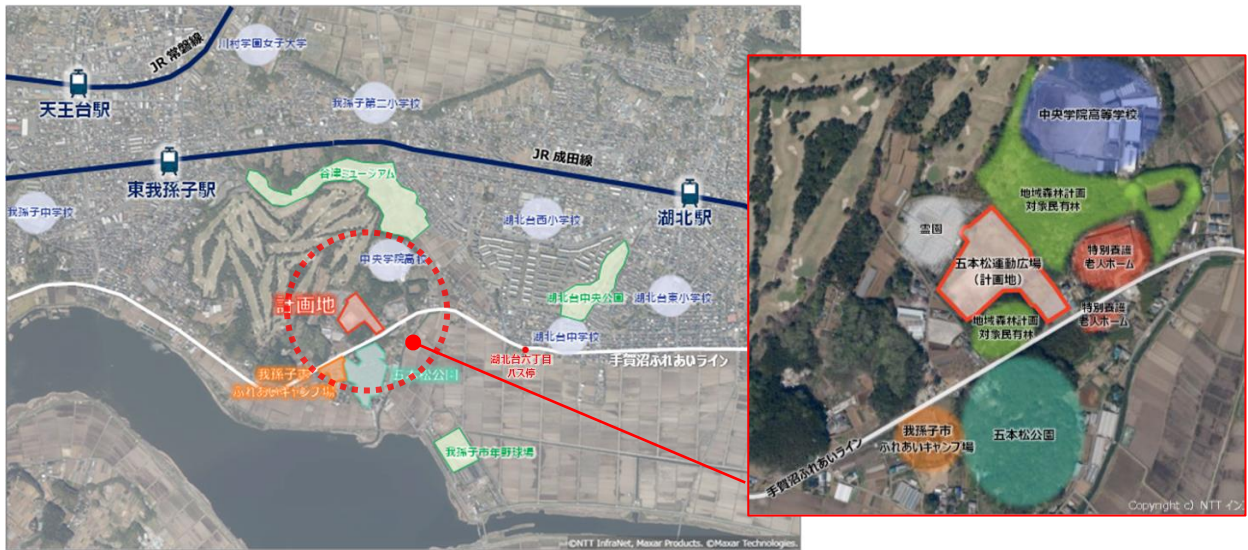


## 2. 計画地の概要

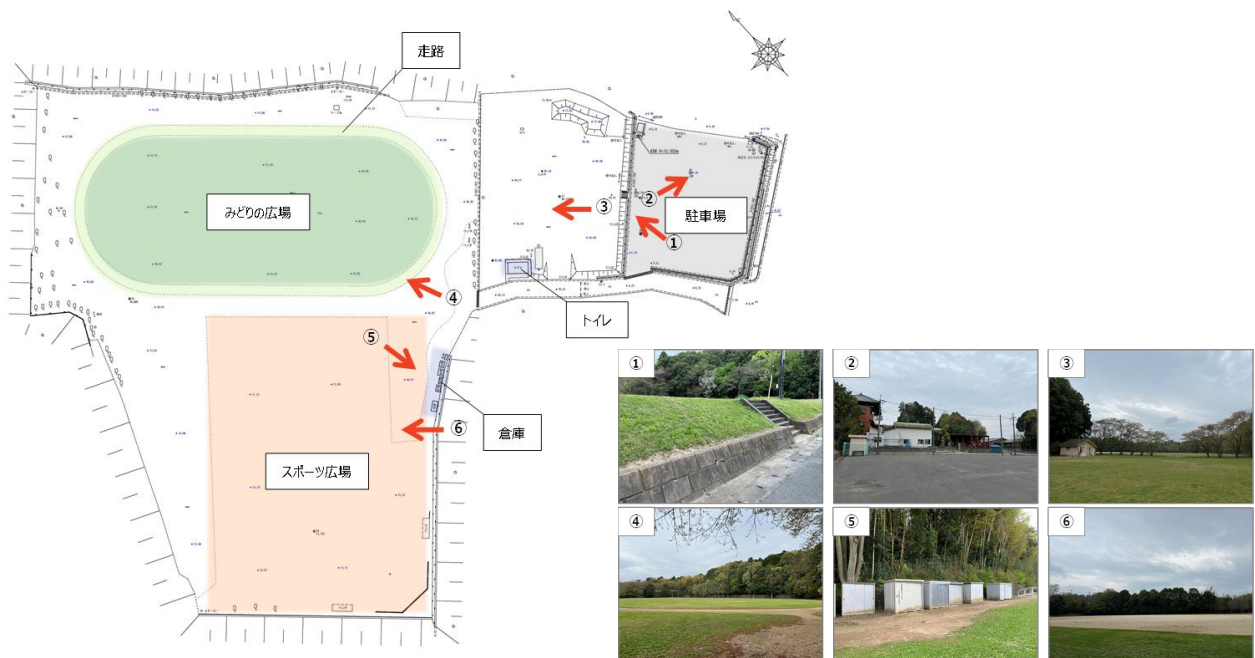
### 2.1 計画地の現況

五本松運動広場は、湖北地区に位置する緑に囲まれた運動広場で、クレイ舗装の「スポーツ広場」と天然芝の「みどりの広場」があり、競技スポーツから運動会などのイベント、レクリエーションまで幅広く市民に利用されている。

施設名称	五本松運動広場	所在地	我孫子市岡発戸 1433-2
運営形態	我孫子市直営	整備年	2001年
敷地面積	31,826㎡ スポーツ広場（クレイ：13,200㎡）、みどりの広場（天然芝：8,800㎡）		
主な利用種目	サッカー、野球、陸上、グラウンドゴルフ 等		
アクセス	【電車】JR「東我孫子駅」または「湖北駅」から徒歩約30分 【バス】阪東バス「湖北台六丁目」から徒歩約12分		



【アクセスと周辺施設】



【敷地現況】

## 2.2 地質・インフラ・法規制等

### <地質・インフラ整備状況>

地質	広場は、谷戸を6～8m埋め立てることにより整備されたもの。既往調査資料では、埋め立て層のN値は2～12と軟弱な部分があることが分かっている。
上水道	計画地の上水道の整備状況はトイレまでとなっており、グラウンド内には引かれていない。
下水道	計画地は「我孫子市手賀沼流域関連公共下水道事業計画」の高野山第6排水区として、下水道（汚水）の全体計画区区域界となっているが、現時点では整備されていない。そのため現在は、浄化槽で処理した水を流末に放流している。
電気	計画地の電気線の引込み状況はトイレまでとなっており、グラウンド内には引かれていない。
ガス	計画地にガス管は整備されていない。
電話線	計画地に電話線は整備されていない。
周辺道路	計画地は2本の認定路線に接道している。

### <法令>

都市計画法	計画地は市街化調整区域に該当する
建築基準法	建築基準法における市街化調整区域の規制は以下のとおり 建蔽率・容積率：建蔽率…60% ・ 容積率…200% 高さ制限：制限なし 道路斜線：勾配1.5 隣地斜線：20m+勾配1.25 日影規制：規制なし 建築基準法第22条区域：指定されている
森林法	地域森林計画対象民有林区域の該当箇所なし
生産緑地法	生産緑地地区の該当箇所なし
都市緑地法	特別緑地保全地区の該当箇所なし
農地法	農地の該当箇所なし
農業振興地域の整備に関する法律	計画地は農業振興地域に該当する 農用地区域の該当箇所なし
土砂災害防止法	土砂災害警戒区域の該当箇所なし
文化財保護法	計画地は岡発戸新田貝塚および仲谷津遺跡の範囲に該当する ただし、既に開発により消滅または届出済みの範囲である為、新たな届出または通知の提出は不要となっている。
景観法 ・ 我孫子市景観条例	計画地は手賀沼ふれあいライン特定地区に該当する 本市では、“ゆとりとうるおい”のある景観を形成するため、市内全域を届出の対象区域である景観計画区域に指定しており、特に、先導的かつ重点的に景観形成を推進すべき区域として「手賀沼ふれあいライン特定地区」を位置付けている。 国の機関または地方公共団体が行う行為は届出を要しないが、予め景観行政団体の長に行う旨の通知を義務付けている。
自然公園法	計画地は自然公園（県立印旛手賀自然公園区域）の「普通地域」内に含まれる千葉県立自然公園条例第二十条に基づき、基準を超える工作物の建築や土地の形状の変更をする場合は知事に届け出なければならない。

<その他関連する計画等>

我孫子市の公共施設における再生可能エネルギーの導入の推進に関する基本方針	新設・建て替え・大規模改修を予定する全ての公共施設について、再生可能エネルギー及び蓄電池の導入を検討する。
我孫子市地域防災計画	計画地は、指定緊急避難場所に指定されており、ドクターヘリ緊急離着陸場、応急仮設住宅設置の候補地である。また、緊急消防援助隊等を受け入れる活動拠点として活用することとしている。
我孫子市移動円滑化等基本構想	公園等においても、「誰もが安心して利用できるよう公園のバリアフリー化を進める」ことなども定めている。

なお、本事業を進めるにあたっては、以下についても協議・調整等が必要となる。

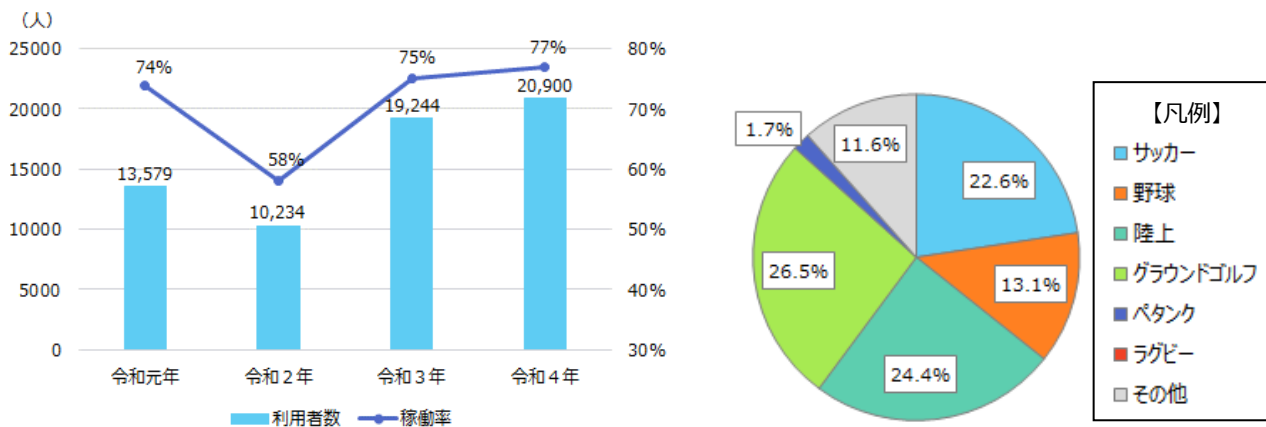
- ・ グラウンドの再整備及びクラブハウスの建築により、雨水流出量の増加が予想されるため、近年の頻発する短時間豪雨などの状況も踏まえ、敷地内からの表面流出を抑制する対策
- ・ 敷地内の緑化（我孫子市緑地等の保全及び緑化の推進に関する条例）
- ・ 自転車置場の設置（我孫子市自転車置場設置基準）

## 2.3 五本松運動広場運営状況

### (1) 利用状況

この数年は、新型コロナウイルス流行の影響による数値の変動が見られるが、稼働率は7割程度、優先予約を含めると年間約20,000人が利用している。

種目としては、サッカー、野球、陸上、グラウンドゴルフの利用人数が多い。



※利用者数については、令和元年・令和2年は優先予約の利用人数含めず

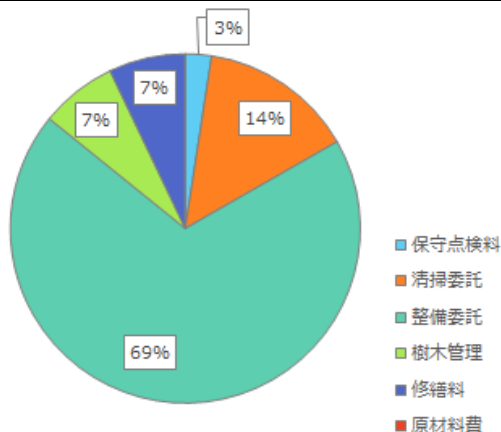
【五本松運動広場の利用者数及び稼働率】

【令和4年度五本松運動広場の種目別利用者数】

### (2) 維持管理状況

維持管理費の内訳は、清掃及び整備に関する委託費が全体の8割程度を占め、残りは保守点検や樹木管理、修繕、原材料などの費用となっている。

項目/年度	(円)			
	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)
保守点検料	144,900	145,200	150,700	145,200
清掃委託	819,425	842,931	844,611	862,817
整備委託	3,477,100	3,628,900	3,839,000	4,169,000
樹木管理	1,270,500	598,400	491,700	427,900
修繕料	59,180	—	27,500	426,800
原材料費	—	—	126,720	—
合計	5,771,105	5,215,431	5,480,231	6,031,717



【維持管理費の内訳 (令和4年)】

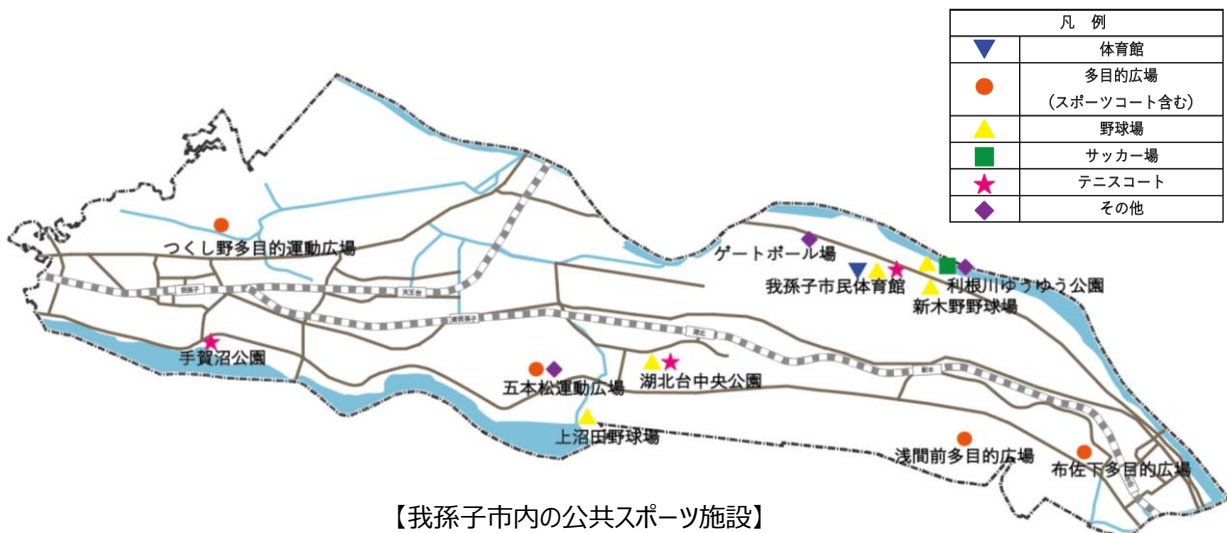
### 3. 我孫子市におけるスポーツの現況

#### 3.1 市内の公共スポーツ施設の概要

##### 3.1.1 施設整備状況

市内の公共スポーツ施設の一覧を以下に示す。

	施設名	施設内容	構造	整備年度	延面積 (㎡)
<b>屋外</b>					
1	つくし野多目的運動広場	多目的スポーツコート	樹脂製フローリング	1986	872
2	浅間前多目的広場	多目的広場	天然芝	1992	37,208
3	布佐下多目的広場	多目的広場	天然芝	1994	10,593
4	五本松運動広場	スポーツ広場	クレイ	2001	13,200
		みどりの広場	天然芝		8,800
5	ゲートボール場	ゲートボール場	天然芝	1982	7,927
6	利根川ゆうゆう公園	野球場	クレイ	1986	4面 54,200
		サッカー場	天然芝	2008	4面 59,520
		オフロードコース	クレイ	2004	25,000
7	湖北台中央公園	野球場	内野：クレイ 外野：天然芝	1970	9,128
		庭球場	クレイ		4面 3,067
8	手賀沼公園	庭球場	クレイ	1966	3面 2,361
9	上沼田野球場	野球場	内野：クレイ 外野：天然芝	1983	29,900
10	我孫子市民体育館	野球場	内野：クレイ 外野：天然芝	1986	9,500
		庭球場	砂入り人工芝	1986 2018改修	5面 3,572
<b>屋内</b>					
11	我孫子市民体育館	体育館	SRC/S	1986	4,875.42
		武道場	S	1999	349.79





### 3.1.2 施設利用状況

市内スポーツ施設の年間利用者数は以下のとおりとなっている。単体の施設としては、五本松運動広場が市内の屋外スポーツ施設で最も利用者が多いことがわかる。

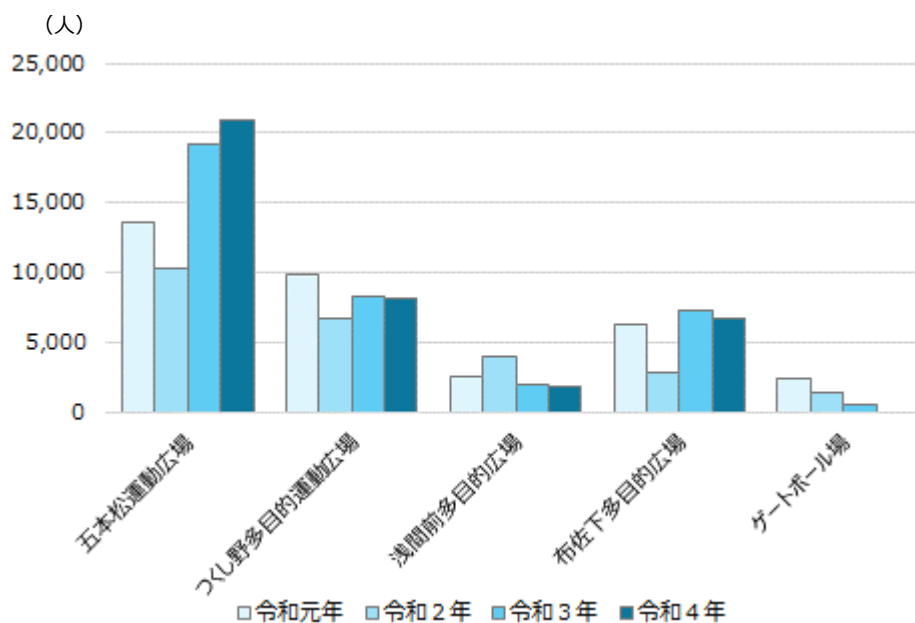
(人)

施設名／年度	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)
五本松運動広場	13,579 <sup>※1</sup>	10,234 <sup>※1</sup>	19,244	20,900
つくし野多目的運動広場	9,786	6,638	8,306	8,129
浅間前多目的広場	2,500	3,898	1,981	1,762
布佐下多目的広場	6,207	2,822	7,292	6,669
ゲートボール場	2,394	1,365	529	0
有料公園施設 <sup>※2</sup>	40,514	38,270	46,807	47,373
我孫子市民体育館 <sup>※3</sup>	163,005	84,248	146,062	151,377
合計	237,985	147,475	230,221	236,210

※1：優先予約の利用人数含まず

※2：利根川ゆうゆう公園野球場・サッカー場（少年用含む）、湖北台中央公園野球場・庭球場、手賀沼公園庭球場

※3：屋内スポーツ施設の利用人数含む



【屋外施設※の年間利用者数の比較】

※単体の施設のみ

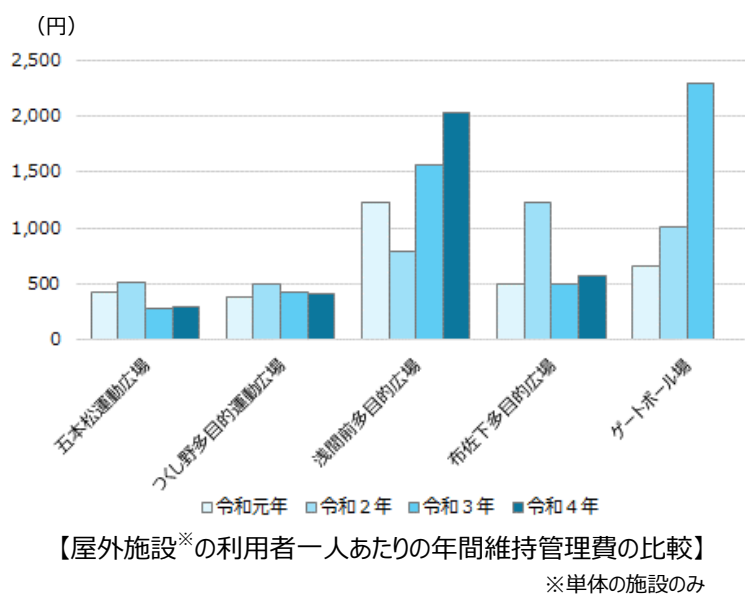
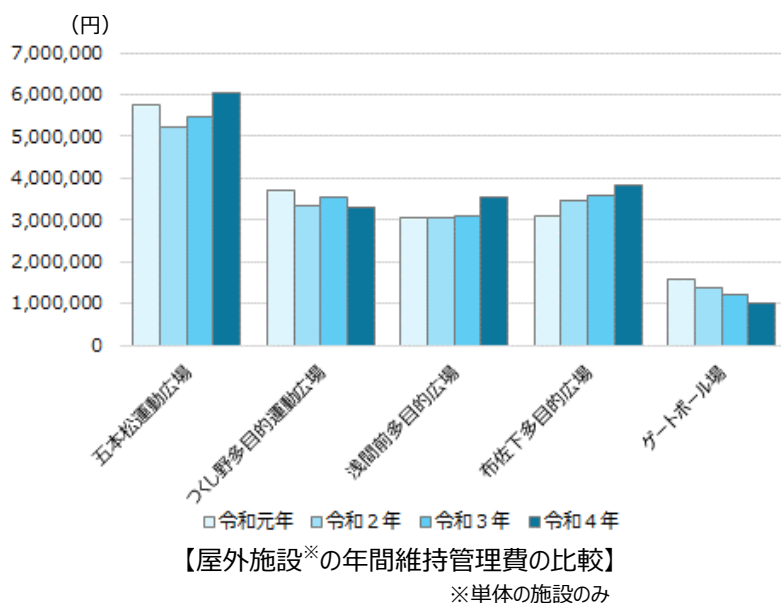
### 3.1.3 維持管理費

市内屋外スポーツ施設の維持管理費は以下のとおりとなっている。維持管理費としては五本松運動広場が最も高くなっているが、利用者一人あたりの維持管理費としては最も低く、費用対効果の高い施設であると考えられる。

五本松運動広場の整備にあたっては、さらなる市民ニーズへの対応、利便性の向上を目指しつつ、市の財政負担を軽減させる、費用対効果の高い整備・維持管理が求められている。

(円)

施設名／年度	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)
五本松運動広場	5,771,105	5,215,431	5,480,231	6,031,717
つくし野多目的運動広場	3,733,365	3,329,703	3,559,480	3,302,114
浅間前多目的広場	3,060,100	3,073,000	3,095,000	3,568,000
布佐下多目的広場	3,105,012	3,450,480	3,602,030	3,836,786
ゲートボール場	1,579,438	1,370,046	1,210,357	1,035,045



## 3.2 市民のスポーツ実施状況やニーズ

本市では、令和4年に「スポーツ推進計画策定に伴うアンケート調査」を実施し、市民のスポーツ実施状況やニーズ等の調査を行っている。概要を以下に示す。

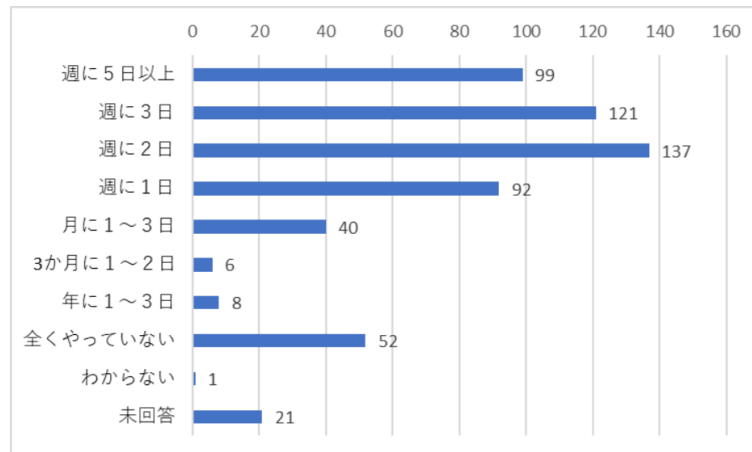
### (1) 実施概要

- ① アンケート期間：令和4年7月25日～令和4年9月10日
- ② 調査対象：10歳以上
- ③ アンケート方法：ちば電子申請サービス 又は 紙面回答
- ④ アンケート回答数：577件

### (2) 実施結果（※抜粋）

#### 1) スポーツ実施状況

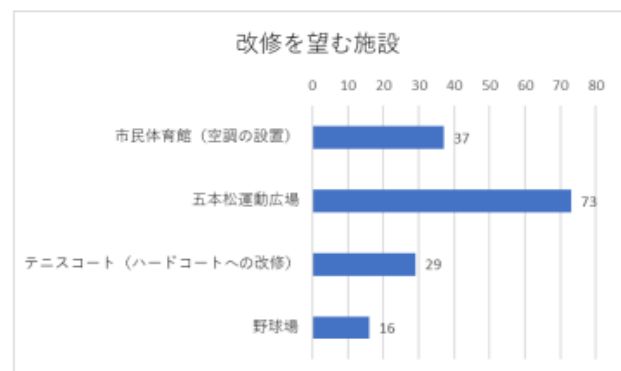
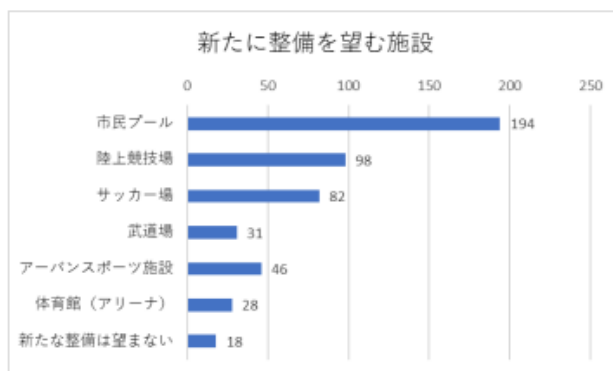
「週に1日以上」の市民が全体の7割と、多くの市民がスポーツに取り組んでいる一方で、「全くやっていない・年に1～3日」など頻度の低い市民も一定数いる。



出典：我孫子市スポーツ推進計画（令和5年3月）

#### 2) 新たに整備・改修を望む市内公共スポーツ施設

新たに整備を望む施設として、“市民プール・陸上競技場・サッカー場”との回答が多く、市内にない施設が上位を占めた。また、改修を望む施設としては「五本松運動広場」という回答が最も多い結果となった。



出典：我孫子市スポーツ推進計画（令和5年3月）

## 4. 導入機能と施設等の検討

### 4.1 五本松運動広場の整備方針と導入機能

#### 4.1.1 求められる役割と整備方針

我孫子市のスポーツ環境における現況と課題から、五本松運動広場に求められる役割を以下の通り整理した。

##### 【現況と課題】

- 利根川ゆうゆう公園サッカー場は天然芝コートのため一定の養生期間が必要であり、年間の利用日数が制限されているほか、河川敷のため、近年多発する大雨等災害時には利根川の増水により水没し、長期間利用できないこともあり、年間を通して利用できるサッカー場の整備が望まれている。
- 市内の屋外スポーツ施設ではテニスコートと野球場には照明設備があり、それ以外の施設では照明設備がないため、利用時間が日中に限られている。
- 我孫子市はジャパンラグビーリーグワンに加盟する NEC グリーンロケッツ東葛のホストエリアであり、市内に練習拠点もあるため、ラグビーに触れる機会があるにも関わらず、市民が気軽にラグビーを楽しめる環境が整備されていない。
- 令和5年3月に策定した「我孫子市スポーツ推進計画」では、市民のスポーツ振興に寄与すべく、市民のニーズに合わせて多目的に利用できる、年間を通して利用できる五本松運動広場のサッカー場（ラグビー場）整備を重点施策として掲げている。



##### 【五本松運動広場に求められる役割】

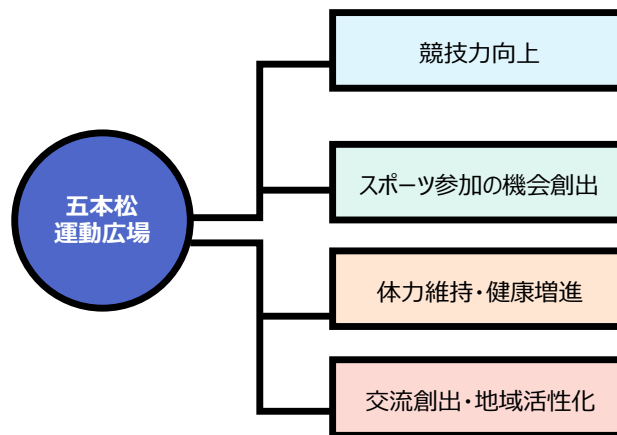
- 誰もがスポーツに親しむことができるよう、スポーツに参加する機会を創出し、スポーツの定着化を図る場が求められている。
- 体力の維持・増進や健康増進、交流の創出、地域活性化など、スポーツの持つ力が十分に発揮される場が求められている。
- 市内のスポーツ団体等との連携を図り、スポーツ実施率及び競技力の向上に寄与する場が求められている。
- 補助金や制度を最大限活用し、市の財政負担を軽減させる整備・維持管理が求められている。

前項で整理した“五本松運動広場に求められる役割”を踏まえ、五本松運動広場の整備方針を以下のとおり定めた。

- ① サッカーやラグビーを中心に、多様な屋外競技に利用可能なサッカー場兼ラグビー場を整備する。
- ② 年間を通して利用できることを前提とし、施設の高効率、高稼働率を実現する。
- ③ 照明設備、防球フェンス、トイレ改修、熱中症予防等のための休憩スペース、管理棟、駐車場、駐輪場等について、財政的負担や市民の利便性を勘案しながら整備する。
- ④ 周辺の手賀沼をはじめとする地域の環境への配慮や SDGs の視点を考慮した整備を行う。

#### 4.1.2 導入機能の検討

“五本松運動広場に求められる役割”及び“整備方針”を踏まえると、五本松運動広場の導入機能は以下の4つの機能が考えられる。



##### ■競技力向上

- ・ 競技スポーツ環境を整備し、充実した練習等が行えるようにすることで、市民の競技力の向上を図る場とする。

##### ■スポーツ参加の機会創出

- ・ 市民のスポーツ実施率を高め、スポーツ愛好者を増やすために、女性や子どもでも参加しやすい環境を整備し、スポーツ体験や教室、交流会などが行える場とする。

##### ■体力維持・健康増進

- ・ Sports in Life 市民のスポーツのある生活を支えるために、多様な市民ニーズに応え、スポーツ実施を支える安定した環境が整う場とする。

##### ■交流創出・地域活性化

- ・ スポーツ参加をとおして市民の交流が進み、コミュニティが充実することで地域の活性化につながるように、交流を支える環境が整う場とする。

## 4.2 導入施設の検討

### 4.2.1 導入候補施設の検討

4つの機能を果たしていくために必要な施設について、市民のスポーツ実施状況やニーズ、そして市内スポーツ施設整備状況を踏まえ、以下の種目対応の施設を候補施設として導入について検討した。

#### (1) サッカー

現状	<ul style="list-style-type: none"><li>既存のサッカー場は、利根川ゆうゆう公園にあり、利根川増水時には水没し利用ができない。</li><li>天然芝のため、一定の養生期間が必要となっている。</li></ul>
上位関連計画	「我孫子市スポーツ推進計画」(R5.3)では、市民のニーズに合わせて多目的に、年間を通して利用できる五本松運動広場のサッカー・ラグビー場整備を重点施策として掲げている。
ニーズ	令和4年に実施した、「スポーツ推進計画策定に伴うアンケート調査」では、新たに整備を望む施設として、市民プール、陸上競技場に次いで、サッカー場の意見が多くあがった。

#### (2) ラグビー

現状	<ul style="list-style-type: none"><li>NEC グリーンロケッツ東葛のホストエリアでラグビースクールなども行われているが、ラグビーのできる公共スポーツ施設がなく、市民がラグビーを楽しめる環境が整備されていない。</li><li>ラグビースクールは NEC のグラウンドを利用しているが、セキュリティ上の制約が大きい。</li></ul>
上位関連計画	「我孫子市スポーツ推進計画」(R5.3)では、市民のニーズに合わせて多目的に、年間を通して利用できる五本松運動広場のサッカー・ラグビー場整備を重点施策として掲げている。
ニーズ	人工芝であればプロの利用の可能性は低いと考えられるが、ユースや我孫子高校などの需要があるのではないか。(NEC グリーンロケッツ東葛)

#### (3) 陸上競技

現状	<ul style="list-style-type: none"><li>市内には、全天候トラックが整備されている公共施設がなく、試合前などは市外の陸上競技場で練習を行っている状況となっている。</li><li>現在五本松運動広場を陸上で利用している団体がある。</li></ul>
ニーズ	令和4年に実施した、「スポーツ推進計画策定に伴うアンケート調査」では、新たに整備を望む施設として、市民プールに次いで、陸上競技場の意見が多くあがった。

#### (4) スケートボード等

現状	<ul style="list-style-type: none"><li>アーバンスポーツができる市の施設はなく、利根川河川敷や堤防で遊んでいる人がいる。</li></ul>
ニーズ	千葉県の調査では、新たなスポーツの中でもスケートボードの認知度は極めて高く、継続的に行っている方も多いが、一方で実施場所についてのマナーやルールについて気になっている方も多く、専用の施設への期待が小さくない。

#### (5) テニスコート

テニスコートは市内に複数箇所整備されていること、また民間施設もあることなどから、五本松運動広場への新たなテニスコートの整備については不要と考える。

現状	<ul style="list-style-type: none"><li>市内には、公共のテニスコートが3か所整備されている。</li><li>民間のテニスコートが2か所運営されている。(※2023年6月末時点・インターネット調べ)</li></ul>
ニーズ	施設の不足や、あらたに施設の整備を望む声は特にない。

## (6) フットサルコート

市民体育館が利用できていること、市内には民間施設もあることなどから、五本松運動広場への新たな専用フットサルコートの整備については不要と考える。

現状	<ul style="list-style-type: none"><li>・現在は主に市民体育館のメインアリーナで行われている。</li><li>・民間のフットサルコートが1か所運営されている。(※2023年6月末時点・インターネット調べ)</li></ul>
ニーズ	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の不足や、あらたに施設の整備を望む声は特にない。</li></ul>

## (7) 野球場

野球(少年野球・ソフトボール)についても、他の種目と比較して市内で行える施設が多いことなどから、専用施設の整備の優先度は低いと考える。

現状	<ul style="list-style-type: none"><li>・五本松運動広場も、少年野球やソフトボールなどで利用されているが、市内には、このほかの公共の野球場が4か所整備されている。</li></ul>
ニーズ	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の不足や、あらたに施設の整備を望む声は特にない。</li></ul>

## (8) グラウンドゴルフ

現在、種目別利用人数の割合で約3割近くを占め、多くの市民に利用されているが、専用の広場ではなく、既設のグラウンド用地を利用している。再整備に際しても、専用の広場等ではなく、サッカー・ラグビー場や広場等においてグラウンドゴルフが実施できるようにできればよいと考える。

現状	<ul style="list-style-type: none"><li>・現在、五本松運動広場はグラウンドゴルフで利用されている</li></ul>
ニーズ	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の不足や、あらたに施設の整備を望む声は特にない。</li></ul>

## (9) クラブハウス

利用者の安全・安心の確保、および、市民に利用しやすい環境を提供するためには、クラブハウス機能は必須と考えられる。

また、公共施設における再生可能エネルギーの導入の推進に関する基本方針に基づき、太陽光発電装置の設置についても検討する。

現状	<ul style="list-style-type: none"><li>・現在五本松運動広場にトイレ以外の建築物は整備されていない。</li></ul>
ニーズ	<ul style="list-style-type: none"><li>・日陰や荒天時の避難対策は必須である。雷への対策として、スタンドだけではなくクラブハウスのような屋内施設が必要。(NEC グリーンロケッツ東葛)</li><li>・市内屋外施設の多くは近くに屋内施設がないため、退避場所がなく、更衣スペースもない。</li></ul>

#### 4.2.2 導入施設の選定

期待される役割を踏まえ、候補施設を、敷地形状にあわせて組み合わせた導入配置案を3案設定し、整備費、維持管理費、市内のスポーツ振興への効果（影響）等の視点から比較検討を行い、A案を選定した。

	A案		B案		C案	
ゾーニング 施設配置						
主な整備内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サッカー・ラグビー場（人工芝・屋根付きスタンド・照明）</li> <li>● 400mトラック（6レーン）・100m直走路（6レーン）</li> <li>● 芝生広場</li> <li>● クラブハウス</li> <li>● 駐車場</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● サッカー・ラグビー場（人工芝・屋根付きスタンド・照明）</li> <li>● 100m直走路</li> <li>● ランニングコース（500m）</li> <li>● パンプトラック</li> <li>● クラブハウス</li> <li>● 駐車場</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● サッカー・ラグビー場（人工芝・屋根付きスタンド・照明）</li> <li>● 100m直走路</li> <li>● 芝生広場</li> <li>● クラブハウス</li> <li>● 駐車場</li> </ul>	
整備テーマ	年間を通じて使用できる屋外スポーツ施設を整備するとともに、現在市内に整備されていない陸上競技を行う環境を整えることで、スポーツ活動の推進を図る。		年間を通じて使用できる屋外スポーツ施設を整備するとともに、新しいスポーツが楽しめる場や、健康づくりに資する場を整えることで、スポーツ実施率の向上や健康増進を図る。		年間を通じて使用できる屋外スポーツ施設を整備するとともに、多用途な利用が可能な多目的広場を整備することで、身体を動かす活動（スポーツ）を通じた交流促進・地域活性化を図る。	
主な施設の概算整備費*	○	約7億9百万	△	約7億28百万	◎	約6億26百万
概算維持管理費	—	～3千万	—	～3千万	—	～3千万
想定利用者数 および稼働予測	◎	本格的な陸上競技の練習ができることから、中学・高校の部活動や、市民など新たな利用が期待できる	○	ランニングコースでジョギング・ランニングをする市民や、若年層を中心にアーバンスポーツの新たな利用が期待できる	△	定期的な利用は想定しにくいですが、広い芝生広場があることから、運営面での工夫によっては、イベント等の開催による利用増を見込むことも可能
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民からの整備要望が高く、現在、活動環境が不十分な状態である陸上競技について充実した練習環境が提供される</li> <li>・ 年間をとおして、サッカー、ラグビー、陸上競技、ジョギングやランニングなどの市民ニーズに対応ができる。</li> <li>・ ランニングジョギングなどの夜間利用が可能となることから、街中での交通安全や防犯上の課題が低減される。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間をとおしてサッカー、ラグビー、ジョギングやランニングなどの市民ニーズに対応できる。</li> <li>・ アーバンスポーツの専用施設ができることで、他の地域での苦情やトラブルの発生防止につながることを期待できる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間をとおしてサッカー、ラグビーの競技環境が確保される。</li> <li>・ 芝生広場を広くとることで、スポーツ活動からレクリエーションまで、様々な利用が可能となる。特に、近年のユニバーサルスポーツの振興やこれによる市民や家族の交流の活性化が期待できる。</li> </ul>	
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芝生広場が小さくなる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多目的な利用がしにくくなる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サッカー及びラグビーコートが標準的なサイズより小さくなる可能性がある</li> </ul>	

\* 整備費には、このほかA～C案共通でかかる種々の費用があるが、ここでは案の比較のために主な施設の整備費用の概算にとどめている。



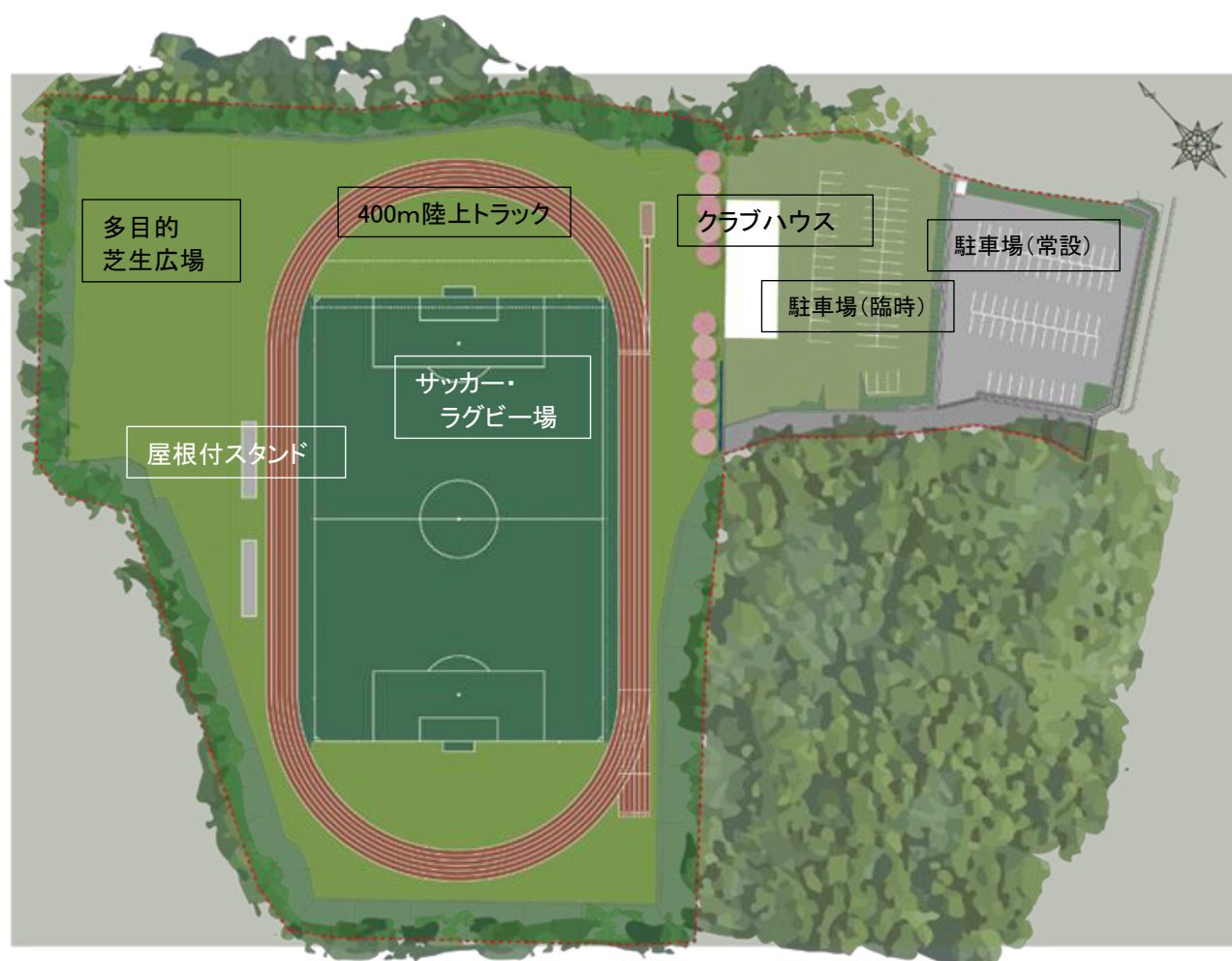
## 5. 施設の基本配置と仕様

### 5.1 施設基本配置

選定結果に基づいて、基本配置図を作成した。

＜主要施設＞

- 人工芝サッカー・ラグビー場 1面
- 全天候陸上トラック 400mトラック、走り幅跳びピット
- 多目的広場 約3,400㎡
- クラブハウス 1棟
- 屋根付きスタンド 1式
- 駐車場 常設・臨時



## 5.2 施設の仕様

### (1) サッカー・ラグビーコート

#### 1) 規格

国際サッカー連盟（F I F A）推奨の 105m×68mを確保する。

なお、ラグビーコートは、122m×68mとし、タッチラインはサッカーコートと共有する。また、インゴールエリアの角部は、一部陸上トラックにかかるものとして、利用時には必要に応じて人工芝シート等を敷設する。

#### 2) 人工芝・工法

##### A) 基本性能について

日本サッカー協会（JFA）認定のロングパイル人工芝とする。

##### B) その他

近年、公共水域におけるマイクロプラスチック汚染が注視されるようになり、スポーツ施設の人工芝の充填材や芝生素材の切れ端が雨水排水とともに水域に排出されることを懸念する声があがっている。五本松運動広場の雨水排水は、河川をとおして隣接する手賀沼に流入しているが、手賀沼は、県立自然公園に指定され、鳥の博物館が設置されるなど水鳥が多く飛来する自然豊かな環境にある。

このため、五本松運動広場に導入する人工芝については、充填材や人工芝の水域への流出防止に配慮が必要である。

また、スポーツ団体へのヒアリングでも出されたように、人工芝のグラウンドは天然芝のグラウンドに比して、身体への負荷（疲労度や衝撃）が大きいことが指摘されている。近年では、身体への負荷を弱めるべく基盤の素材や工法でも様々な工夫が検討されている。

素材および工法は、地域の環境への配慮や SDGs の視点、処分費、利用者の身体への負荷等を考慮したものとする。

### (2) 陸上トラック

#### 1) 規格・配置

日本陸上競技連盟（JAAF）の公認は目指さないが、トラックの仕様は公認 4 種に準ずる。

直走路・周回路とも6コースとする。

コース幅は、公認トラックと同様に 1.22mとする。

練習用に、走り幅跳び走路とピットを、トラック直走路の延長線上に設ける。

#### 2) トラック素材

全天候対応の樹脂系素材とする。

製品選定に際しては、耐久性とともに、選手身体への負荷なども考慮したものを使用する。

### (3) 芝生広場

サッカー・ラグビーコート、陸上トラック以外の部分は、すべて芝生仕上げとする。

## (4) クラブハウス

### 1) 仕様・規模

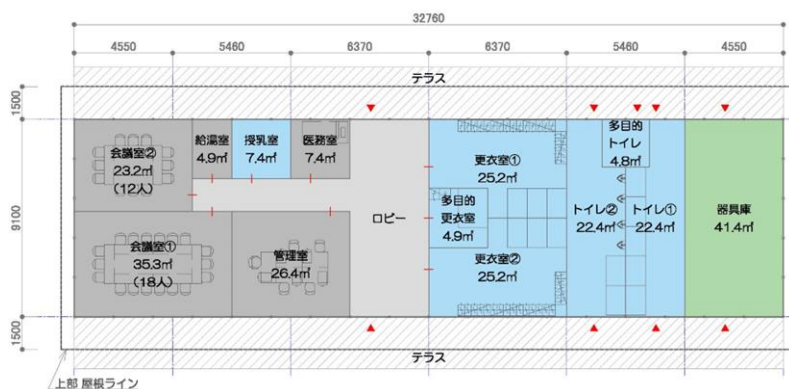
軽量鉄骨造の平屋（1階）建とする。

諸室の種類と概ねの大きさは、下表のとおりを想定する。

機能	想定規模 (㎡)	備考
管理室	25.0	5 ㎡×5 人
会議室①	37.5	2.5 ㎡×15 人
会議室②	20.0	2.5 ㎡×8 人 審判室、役員室、控室等
医務室	10.0	ベッド 1 台程度
授乳室	10.0	ベビーカーで入室、男性の授乳、母乳での授乳に配慮
更衣室①	34.0	男女別 (1.2 ㎡×20 人)、シャワーブース、ロッカー、ベンチ など
更衣室②	34.0	
トイレ①	25.0	男女別、多機能トレイ(1カ所)含む
トイレ②	25.0	
器具庫	49.5	陸上競技、各種球技に使用する器具保管
エントランス、廊下	50.0	駐車場からグランドへのアクセス可能、荒天時の一時避難場所、見学待機場所、大会運営時の本部設置 等
<b>合計</b>	<b>320.0</b>	その他屋外機能としてピロティを整備

### 2) 諸室のレイアウト

諸室のレイアウト例を下図に示す（雨天や陽ざしを避けるためのテラス部分を広くしたため、諸室の規模は上表よりも小さめとなっている）。



### 3) その他

#### A) トイレ

トイレは、屋外からも利用可能な形態とする。排水は合併浄化槽により処理する。

#### B) 太陽光発電パネル

屋根面に太陽光発電パネルの設置を検討する。

## (5) 駐車場

駐車場は、既設の駐車場エリアに、60～70 台程度を整備する。

また、クラブハウス前に臨時駐車場として 40～50 台程度を設け、通常時は芝生広場として利用する。

## (6) 駐輪場

我孫子市自転車置場設置基準に基づき、1 台当たりの標準面積は 0.9 m<sup>2</sup>とする。

児童・生徒がサッカー等の練習や試合で利用することを考慮し、50 台分以上を確保する。

## (7) 照明

グラウンドの夜間利用を想定し、照明設備を設置する。

### 1) 照度

JIS 照明基準では、運動競技の水準をⅠ、Ⅱ、Ⅲに区分し、種目ごとに、各区分に応じた照明要件を定めている。

本施設はⅢに該当することから、陸上トラック及びサッカー・ラグビーコート内で 100lx 以上を確保する。

区分	適用例
Ⅰ	観客のいる国際、国内、地域全体又は特定地域における最高水準の運動競技会。最高水準のトレーニング。
Ⅱ	観客のいる地域全体又は特定地域における一般的な運動競技会。高水準のトレーニング。
Ⅲ	観客のいない特定地域の運動競技会。学校体育又はレクリエーション活動。一般のトレーニング。

### ■推奨照度

運動競技区分	サッカー・ラグビー (lx)	陸上競技 (lx)
Ⅰ	500	500
Ⅱ	200	200
Ⅲ	100	100

### 2) 環境配慮

生態系や、近隣家屋等への影響を低減するために、照射角度の配慮や、虫等の誘因を抑える光源などを用いるものとする。

## (8) 屋根付きスタンド (ベンチ)

熱中症対策としての日除けスペース、雨天時の雨除けスペースなど、競技者・観戦者の双方が利用できる屋根付きの観客席 (ベンチ) 兼休憩席を設置する。

### 1) 規模

サッカー・ラグビーコート半面に 90 名程度分 (試合中チーム分+観客分+待機チーム分)  
計 180 席程度

## 2) 配置

トラック直走路部分に平行して、サッカー場の半面ずつに振り分けて設置する。

敷地形状の関係で空間確保が厳しいと思われるためバックストレート側に配置するが、設計作業において入り口側（100m直走路に沿って）に配置することも検討することが望ましい。

### (9) 雨水排水対策

本事業におけるグラウンドの再整備及びクラブハウスの建築により、雨水流出量の増加が予想されるため、近年の頻発する短時間豪雨などの状況も踏まえ、敷地内からの表面流出を抑制する対策を講じることとする。

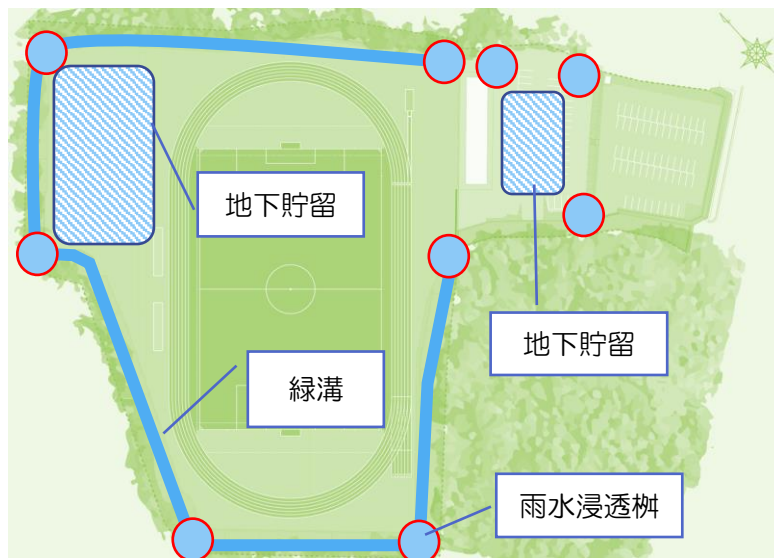
#### 1) クラブハウスの整備にかかる雨水排水対策

クラブハウスの整備に係る雨水流出抑制対策は、クラブハウス前の芝生広場などを利用して、できるだけ地下浸透処理や一時貯留機能を付加するなど、敷地内からの流出ピークカット対策を講じる。

#### 2) グラウンド面における雨水排水対策

グラウンド面においては、一時貯留施設として、グラウンド周囲の緑溝や、多目的芝生広場の地下に礫間貯留浸透を可能とするなど、グリーンインフラにも配慮した雨水排水対策を講じる。

(緑溝や雨水浸透柵の配置例)



### (10) ユニバーサルデザイン

再整備にあたっては、ユニバーサルデザインに配慮するものとする。

## 6. 整備・運営管理方法

五本松運動広場に新たに整備する施設（以下「本施設」という。）を整備及び運営していくにあたり、より効率的かつ効果的な事業実施を行うことで市の財政負担の抑制や市民が利用しやすいサービス提供が可能となる方法で実施することが求められているため、整備・運営管理手法を検討する。

### 6.1 整備における民間活力の導入について

公共スポーツ施設の整備における民間活力の導入方法としては、PFI方式、DBO方式、DB方式が考えられるが、PFI方式やDBO方式は、本事業には適性が低いと考えられ、民間活力の導入を図る方法はDB方式が適している。

方式	特徴	本事業への適性	
PFI	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計、建設から運営管理まで一括で長期包括的に民間に性能発注</li> <li>資金は民間が調達し、当該事業（設計、建設、運営、管理）のみを担うSPC（特別目的会社）の設立が必要</li> <li>民間ノウハウの発揮余地が大きく、効率的な事業実施が期待される</li> <li>施設整備にかかる費用を割賦払いできるため、市の財政支出が平準化される</li> </ul>	事業規模・事業内容的に民間による資金調達費用や会社経費等を上回る効率化の効果が期待しにくい 一体事業となることで地元企業や関係団体が参加しにくくなることの懸念	×
DBO	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計、建設から運営管理まで一括で長期包括的に民間に性能発注</li> <li>資金は公共が調達</li> <li>民間は本事業の運営管理のみを担うSPC（特別目的会社）の設立が必要</li> <li>民間ノウハウの発揮余地が大きく効率的な事業実施が期待される</li> </ul>	事業規模・事業内容的に民間による会社経費等を上回る効率化の効果が期待しにくい 一体事業となることで地元企業や関係団体が参加しにくくなることの懸念	△
DB	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計、建設を一括で一事業者に性能発注</li> <li>資金は公共が調達</li> <li>建設工事上のノウハウを設計に反映しやすく工事費の削減や工期短縮が期待</li> </ul>	工事を見据えた設計を行うことで工期短縮が期待できる 整備内容が複雑でないことから、地元企業同士での参加も期待できる	○
従来方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計、建設、その後の管理運営の各業務を個別に仕様発注</li> <li>建設は設計業務にて決定した図面に基づき発注・実施のため、工事を意識した設計とならない</li> <li>資金は公共が調達</li> <li>その後の管理運営は別途公共が発注</li> </ul>	通常実施されている従来方式になるため、実施は可能であり、発注自体には期間を要しない 一方で、工事を見据えた設計を行うことができず、工事の中で設計変更が発生するリスクもあり工事期間が延びるリスクがある	△

## 6.2 運営・管理における民間活力の導入について

### (1) 運営管理方式の検討

一般に、行政が直営するメリットは、「行政が直接コントロールできる」「自治体の政策や意向が発揮しやすい」などがあげられ、デメリットは「管理運営を行うにあたって、行政職員の施設配置が必要となる」「行政職員に専門分野の知識や経験が必要となる」「施設において、開館時間、休館日などの制約が生じる」ことなどがあげられている。

本施設は、照明設備を整備し夜間まで使用可能となることや、種々のスポーツ振興事業を展開することが期待されることから直営ではなく、民間活力の導入が望ましいと考えられる。

公共スポーツ施設の運営・管理において民間事業者を活用する方法としては、いわゆる従来方式(運営委託と管理委託の個別委託)、運営・管理の一括委託(包括委託)、指定管理者方式がある。

本施設の再整備の目的として掲げている、市民の競技力向上やスポーツ実施率の向上、健康づくりや地域の活性化に寄与するためには、安定して利用できる施設を活用して様々な事業を実施していくことが望まれる。

このため運営・管理においては、施設の使用許可権限を有するなど柔軟な対応ができることで、事業者の有するスポーツ振興の専門的なノウハウが発揮しやすい指定管理方式が優れていると言える。

方式	特徴	本事業への適性	
個別委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の運営、維持管理を個別かつ単年度で発注する</li> <li>契約は市とそれぞれの業務実施企業が個別に契約する</li> <li>施設の活用の権限範囲は小さい</li> </ul>	従来と変わらずスポーツ普及・振興等への民間ノウハウの発揮が期待できない。	×
包括委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の運営、維持管理を長期かつ包括して発注する</li> <li>契約は包括対象業務を実施する運営・管理JVや単体企業と契約する。必要に応じて当該業務のみを実施する特別目的会社を組成し契約することもある</li> <li>施設の活用の権限範囲は小さい</li> </ul>	スポーツ普及・振興等への民間ノウハウの発揮は期待できない。	△
指定管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の運営、維持管理を指定管理者が行う。</li> <li>対象施設は地方自治法 244 条の 2 に基づく公の施設が対象となる</li> <li>指定管理者となる単体企業や運営・管理JV、特別目的会社に対して指定を行う</li> <li>施設の使用許可権限を有するなど活用権限範囲が大きい</li> </ul>	施設の使用許可権限を有するなど柔軟な対応ができることで、事業者の有するスポーツ振興の専門的なノウハウが発揮しやすい	○

### (2) 指定管理者について

五本松運動広場は、再整備により、人工芝と全天候トラックおよび夜間照明を備えることから、天候や時間の影響は少なく、年間をとおして安定して運営できる施設となる。

また、サッカー・ラグビーコート、陸上トラックは、一度に大人数で利用できる施設であることから、単独のユーザーグループへの時間貸しよりも、複数の団体や個人が一緒に利用することで、多くの市民の利用が可能となる。

このように、本施設の運営には、市内のスポーツ団体の調整を頻繁に行ったり、市民のスポーツ実施率を高め健康で活力ある地域づくりに資するための事業運営などが求められることから、これに適した団体（事業者）を指定管理者として選定することとする。

### **(3) ネーミングライツについて**

ネーミングライツの導入について検討することとする。



## 7. 概算事業費・整備効果の検討

### 7.1 概算整備費

基本概算整備費：8億9千7百万円（税込み）

内訳	百万円	備考
グラウンド面		
サッカー・ラグビーコート	132.0	人工芝、基礎、排水施設
陸上トラック	84.0	タータン、基礎
多目的広場等	11.1	芝生
共通	88.0	整地、照明、排水施設等
クラブハウス・駐車場面		
広場整備	8.7	芝生、照明等
クラブハウス	154.0	建屋、浄化槽、基礎工等
その他共通		
受電施設	10.0	電気設備
給水・排水関連	8.8	水道、排水
雨水流出抑制対策工	17.3	
備品等	4.5	サイン、スポーツ用具等
直接工事費計		
土木工事	382.4	
建築工事	136.0	
諸経費		
土木工事	229.4	60%
建築工事	68.0	50%
合計		
土木+建築	815.8	
消費税	81.6	
税込み合計	897.4	

## 7.2 維持管理費

### 7.2.1 運営・管理費

#### (1) 経費

他事例等も参考として、運営・管理費の概算を算出した。

芝管理は、常駐スタッフが管理作業を行うものとして人件費は計上せず、草刈り機の燃料代や肥料代を見込んだ。

また、消耗品に、スポーツ用具（例：サッカーゴールネット等）の買い替え費用は含めていない。

	年間費用	備考
電気	1,800 千円	屋外照明日 4 時間点灯、他
熱水（ガス）	1,000 千円	他事例参考
芝管理費	1,000 千円	常駐スタッフによる管理。燃料代、肥料代
消耗品	500 千円	
その他	1,000 千円	
合計	5,300 千円	

#### (2) 人件費

どのような団体・組織が運営管理を担うのかによって、人件費の積算の考え方も変わる。

ここでは、参考として、臨時雇いのスタッフを配置すると仮定した際の人件費について試算した。

	年間費用	備考
人件費	19,000 千円	常駐 2 名、13 時間/日、360 日開園

### 7.2.2 施設整備・更新費

その他、スポーツ施設・設備の更新費について、類似例や事業者ヒアリングにより以下のとおり整理した。

	補修更新費用	備考
サッカー・ラグビーコート人工芝	80,000 千円	10～15 年で張り替え
陸上トラック	29,000～54,000 千円	15～20 年で張り替え
照明電気設備	30,000 千円	15 年程度で入れ替え
クラブハウス	40,000 千円	20 年で中規模改修
備品・用具	5,000 千円	20 年で入れ替え

## 7.3 整備効果等

### 7.3.1 利用者数の増加

#### (1) 利用性の向上

利用枠を1枠3時間、1日4枠が設定でき、人工芝とすることで、管理側で定めた休園日以外は、ほぼ毎日利用が可能となる。

	午前 (0900-1200)	午後① (1200-1500)	午後② (1500-1800)	夜間 (1800-2100)
平日	グラウンドゴルフ等	グラウンドゴルフ等	部活(陸上・サッカー)	フットサル等
土曜	ラグビーと陸上	部活(陸上・サッカー)	部活サッカー	フットサル等
日曜	サッカー	サッカー	サッカー	フットサル等

#### (2) 利用想定人数

利用想定人数は年間3.6万人前後と、現在の約2万人から、ほぼ倍増することが期待される。

利用種別	R4年利用者数	将来利用者数	推定増減根拠
全体	20,900人	約36,000人	
サッカー フットサル	4,700人	14,700人	人工芝、照明付となり、利用環境が大幅に改善。平日の学校部活動や夜間の社会人利用なども見込める
野球	2,700人	0人	野球利用は別施設となる
陸上	5,100人	10,800人	市内の陸上関係者の練習拠点となり、部活やクラブの練習、市民のジョギングなどの利用が増加する
グラウンドゴルフ	5,500人	6,000人	従来と同程度を見込む。クラブハウスなど交流環境の改善で若干増加も期待
ラグビー	100人以下	4,800人	市内で行われてるラグビースクールの拠点ともなる
その他	2,800人	—	運動会の利用なども考えられるが、予測条件がないため、算定していない

### 7.3.2 市内スポーツ振興に関する効果

#### (1) 陸上競技振興

- ・ 既存施設は天候の影響を受けやすく年間をとおして十分な練習を行えるわけではないが、400mの全天候型トラックができ、陸上競技の競技環境が著しく向上する。
- ・ 市内には、中学・高校の部活動の他に、陸上クラブが2クラブ活動しており、日々の練習においても、充実した練習が行える。

## **(2) サッカー・ラグビー競技振興**

- ・ 人工芝のサッカー・ラグビー場の整備により、これまで天候に影響されていた大会等の運営がスムーズになる。
- ・ ラグビースクール等の運営も安定する。
- ・ 照明設備設置により、平日夜間にもサッカー等の練習が可能となる。

## **(3) 市民スポーツの環境改善・健康力向上**

- ・ 天候や時間の影響を受けずに、ランニングやジョギングなどが可能となる。
- ・ 近年の国の調査のスポーツ実施種目をみるとウォーキングがトップで、体操、トレーニング、階段昇降、ランニングが上位である。マラソン大会等の人気も高く、平日でも多くの市民がランニングをしている姿をしばしば見かけるが、一方で、自転車や自動車との錯綜などの課題も指摘されており、安全に走れる環境も求められている。夜間でも練習可能な陸上トラックができることで、このようなニーズを受け止めることも可能となる。
- ・ 手賀沼を周回するサイクリストやランナーが、トイレや天候急変時の避難場所等に利用することができる。

## **(4) スポーツをととした市民の交流促進**

- ・ トイレや更衣室などが充実したクラブハウスが整備されることで、女性や小さな子どもでもスポーツに参加しやすい環境が整う。
- ・ 同時に、スポーツ後の参加者同士の交流や家族との交流機会も増加する。

## 8. 整備にむけて

### 8.1 事業スケジュール

DB方式で進める際の事業スケジュールについて以下のように整理した。

DB事業者において工期短期が図られる可能性もある。

	R5年度			R6年度			R7年度			R8年度		
基本計画	■											
地質調査				■								
測量調査				■								
DBアドバイザー業務												
業務発注				■								
DBアドバイザー				■			公募資料作成 ◎R6.11 公募 ◎R7.2 提案受付 ◎R7.4 落札者決定 ◎R7.6 契約議決					
DB事業							■			設計：6～9ヶ月 建設：9ヶ月		
指定管理者選定												
要項作成										◎要項等作成 ◎R8.9 選定 ～準備		
供用												■

## 8.2 補助金について

現在、国内のスポーツ施設整備に関する補助制度等は、国による補助制度、都道府県による補助制度、独立行政法人日本スポーツ振興センターによる助成制度と、JFA（日本サッカー協会）サッカー施設整備助成の活用が考えられる。

スポーツ振興くじ助成におけるスポーツ施設整備は、下表のとおり、大規模スポーツ施設整備助成と地域スポーツ施設整備助成があるが、本事業は「地域スポーツ施設整備助成」が該当する。

助成制度	助成対象事業
×大規模スポーツ施設整備助成	Jリーグホームスタジアム等整備事業
	国民体育大会冬季大会競技会場整備事業
◎地域スポーツ施設整備助成	スポーツ施設等整備事業

「地域スポーツ施設整備助成」では、次の事業が対象とされている。

- ① 総合型地域スポーツクラブ活動拠点（クラブハウス）整備事業
- ② グラウンド芝生化事業
- ③ スポーツ施設等整備事業
- ④ PPP／PFI導入のためのアドバイザー活用事業

本事業では、このうち①、②、③の活用可能性がある。

助成事業名	助成割合	助成対象経費上限額 (助成限度額)	対象となる可能性のある施設等
総合型地域スポーツクラブ活動拠点整備事業		令和5年要綱に記載なし	クラブハウス
グラウンド芝生化事業 人工芝生化新設事業	4/5	60,000千円 (48,000千円)	サッカー・ラグビーの人工芝コート
スポーツ施設整備事業 スポーツ競技施設等の整備 or 大規模改修等	2/3	30,000千円 (20,000千円)	・照明設備 ・陸上競技トラック

また、JFAサッカー施設整備事業では、

- ① 人工芝グラウンド新設事業
- ② 夜間照明施設新設事業
- ③ クラブハウス新設事業

が対象となる。

スポーツ振興くじ助成と二重では利用できないため、それぞれ対象とする施設と助成金額の割合について比較検討して選択していくものとする。